

【評定基準】 A:目標を9割以上達成 B:8割以上達成 C:6割以上達成 D:6割未満の達成

4:そう思う 3:どちらかと言えばそう思う 2:どちらかと言えば思わない 1:思わない ◎肯定率8割以上、○6割～8割、△6割以下

項目	重点目標		質問項目	評定	学校による考察・改善方策	評価資料	評価	アンケート結果(%)						R6.12月 肯定率
			○生徒、◎保護者、□教職員、◇地域有識者					4	3	2	1	肯定率	全体肯定率	
4 健康安全 教育	・心身を鍛え、健全育成と自己実現に資する部活動の推進	⑩	○双海中の部活動は意欲的に行われており、私もがんばって取り組んでいる。 ◎双海中は、部活動に意欲的に取り組み、その活動は充実している。 □本校の部活動は適切に運営され、生徒は意欲的に活動している。 ◇双海中生は、部活動に意欲的に取り組み、その活動は充実している。	A	【考察】 昨年度12月と比較して、生徒の肯定率は若干下がったものの、4者ともに高い肯定率と言える。部活動に所属している生徒で「どちらかと言えば思わない」、保護者で「(どちらかと言えば)思わない」と回答している状況もあることも踏まえ、一人ひとりにとって充実した部活動となるように留意する必要がある。 【改善方策】 部活動の目的が人間力の向上であることを念頭に置き、頑張っていることや成長していることを認め、生徒が充実感を持てる部活動経営を推進する。また、今年度から新設した卓球部についても、外部指導者とも連携しながら運営を軌道に乗せていきたい。本市では部活動の地域以降に向け、積極的に準備が進められているため、行政や伊予市内の他校とも連携を密にし、部活動の新たな形にも生徒が戸惑うことなく、意欲的に取り組めるようサポートしてしていきたい。	生徒アンケート	◎	73	20	7	0	93	96	94
			保護者アンケート			◎	50	43	4	4	93	88		
			教職員アンケート			◎	70	30	0	0	100	88		
			地域有識者アンケート			◎	74	26	0	0	100	96		
	・命を守るための学校安全に関する危機管理体制の強化及び安全指導の徹底	⑪	○私は、まわりの人が危険になるようなことはせず、安全に気をつけている。 ◎双海中は、安全指導が行われ、事故防止に努めている。 □本校は、学校安全に関する危機管理意識の高揚と、安全指導の徹底による事故防止がきちんと行われている。	A	【考察】 昨年度12月同様に、三者とも高い肯定率を保っている。大部分の生徒は安全や危険防止を意識した学校生活を送ることができているが、2%の生徒が「思わない」と回答していることにも留意し、引き続き丁寧な指導を積み重ねていくことが大切である。 【改善方策】 生徒自身が災害等のリスクに適切に対応できる力を身に付けさせるため、より実践的な危険への対処、危機回避を含めた避難訓練を実施するなど、指導を積み重ねていく。また、校内でも高い安全意識を保ったまま生活できるよう、また、生徒自身でも潜在的な危険を見抜く目が育つよう、引き続き、機を捉えた積極的な指導を行っていきたい。	生徒アンケート	◎	68	29	0	2	98	99	98
			保護者アンケート			◎	50	50	0	0	100	100		
			教職員アンケート			◎	60	40	0	0	100	100		
	・健康安全に関する指導の充実と、衛生的で安全な給食指導の徹底	⑫	○私は健康に気を付け、手洗い・うがいや給食時の衛生にも気を付けている。 ◎双海中は、健康や衛生管理の指導を適切に行い、生徒のけがや病気等に適切に対処している。 □本校は、生徒の健康維持のための適切な健康安全教育や衛生的で安全な給食指導の徹底を図っている。	A	【考察】 3者ともに高い肯定率であるが、睡眠時間の短さや家庭での間食の多さに課題を感じている生徒もいる。また、バランスの良い食生活という観点から課題が見られる生徒も存在している。生徒が自律的に健康維持に留意できる指導を重ねる必要がある。 【改善方策】 1学期には熱中症防止の観点から、登下校時の冷却マフラーの使用を可能にしたが、今後も生徒の健康維持のために必要な処置は積極的に行っていきたい。2学期には思春期教室を全学年で行う予定としているため、指導の工夫を図るとともに、保健だより等も効果的に活用しながら、生徒の健康や衛生面への意識を高めていきたい。また、家庭とも連携を密にし、生活習慣も含め健康的な生活が維持できるよう指導を行っていく。	生徒アンケート	◎	70	26	5	0	95	95	96
			保護者アンケート			◎	47	43	7	3	90	75		
			教職員アンケート			◎	80	20	0	0	100	100		
・潜在危険個所の把握や防災・減災対策の確立	⑬	○私は、登下校の時、交通ルールを守り、安全な通学ができている。 ◎双海中では、登下校の安全指導をしっかりと行い、生徒が安全かつ安心して通学できるように努めている。 □本校では、登下校の安全指導をしっかりと行い、生徒が安全かつ安心して通学できるように努めている。 ◇双海中は、登下校の安全指導をしっかりと行い、生徒が安全かつ安心して通学できるように努めている。	A	【考察】 昨年度12月同様に高い肯定率であるが、1学期は、ヘルメットの着用に課題がみられる状況もあったため、生徒の交通マナーや危機管理意識を向上させていくことについては、普段からの継続した指導が大切である。通学路や生活道路における危険個所について、保護者、地域から積極的に声をいただいていることもあり、丁寧な指導を積み重ねられる環境を今後も生かしていきたい。 【改善方策】 双海地域は、平日よりも休日の方が交通量が多くなる。そのため、家庭や地域で過ごすときにも、事故に遭わないように、自分で適切に安全について判断できるよう指導する必要がある。PTA専門部が中心となって通学路点検や児童生徒を守り育てる協議会、保護者・地域からの声を十分に生かし、地域の状況にあった具体的な安全指導を行っていく。また、ヘルメットの着用など通学路上での安全指導も力を入れていきたい。	生徒アンケート	◎	84	16	0	0	100	98	100	
		保護者アンケート			◎	45	48	7	0	93	93			
		教職員アンケート			◎	60	40	0	0	100	100			
		地域有識者アンケート			◎	74	26	0	0	100	89			

※1 「よりよい学校づくりのためのアンケート」 回答者数:生徒44名、保護者30名、地域有識者28名、教職員10名

※2 全体肯定率は各アンケートの単純平均